



子どもたちと
本をつなぐお手伝い。
それが僕のやるべきこと。

Little Lovely Bookshop
オーナー & 獣医師
ミントさん



「マレットファンの周りの輝く人」シリーズ第9回。自分の経営する動物病院の2階に本屋さんをオープンしたミントさんにお話を伺いました。



タイ北部のランパーンで動物病院を開業するミントさんは、その2階で小さな本屋さん「Little Lovely Bookshop」を開いています。扱っているのは絵本や小説など子どもの本から大人の本まで、ミントさんが良いと思う本を取り寄せて揃えています。獣医さんが本屋さん!とちょっと驚きましたが、ミントさんが本屋を始めたのは、全国で書店がどんどん減っていることを危惧したため。良い本はたくさんあるのにそれらに出会える場所がなくなっていくのはとても残念なこと、本たちがもっと長く生きられるように、本たちの命を伸ばしたいという思いからでした。「本屋さんはあくまでも趣味なんですよ」と話すミントさんですが、本への熱い思いがひしひしと伝わってきます。

ミントさんの書店では本と触れ合うことを大切にしています。例えば、店の片隅に小さな絵本コーナーを設置して、本

を買わなくても親が子どもに読んであげられるような環境を整えたり、ブッククラブを開いて参加者それぞれが自分の好きな本を紹介しあったりと、大人も子どもも関係なく本を楽しむ輪を広げています。本が好きな人は大歓迎! お店でじっくり読んでいいよとお菓子の持ち込みもOKです。1階の動物病院でもテーブルや椅子に本を置き、訪れた人たちに自由に本を手にとってもらえるようにしています。「気に入ったら2階で売っていますので買っていただければ(笑)。でも僕から“これを読みなさい”というものはないんです。読書は強いられるものではありません。好きな本と出会えればいい。好きな本を読むのが一番いいんです」。

「本が大好きな子どもでした」

本は子どもの頃から大好きだったというミントさん。お母さんが貸本屋をやっていたため、身近に本がたくさんあ



1階がミントさんの動物病院。愛情が詰まった小さな本屋「Little Lovely Bookshop」はその2階。



マレットファンもミントさんの本屋さんを訪ねました。